

越冬支援

多くの被災者が住む山間の農村部では、集合仮設プレハブ住宅ではなく、被災者自身がテントや壊れた家の廃材などを組み合わせて建てた間に合せの家で厳しい冬を迎えました。電力事情も厳しいこれら農村部に住む合計78700名に対して、日赤は一人につき布団と防寒服1枚ずつを届けました。

以下は09年1月に激震地の四川省北川県で行われた配布の様子です。 ©日本赤十字社



式典会場の小学校前に積まれた布団と防寒服



激震地の北川県。地震による崖崩れで山がはげている



日赤駐在員と受益者。年配者、子ども、大人の順に配布



北川県に住むチャン民族の伝統衣装、風習での歓迎式



配布式典に集まった地元の人々



周りの暮らしの風景